

出展ゾーン

設計
測量

新しい「業務効率化」のカタチ

デジタルの力を活用し、これからの水インフラを支えます

当社は官民連携を支える各種デジタル技術を駆使した持続可能な下水道事業の発展に取り組んでいます。

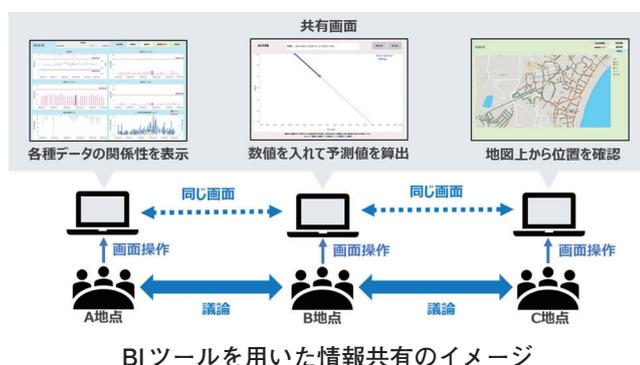
そこで、官民連携事業において、当社が実施しているDX施策等を用いた持続可能な下水道事業を実現するためのサービス展開についてご紹介します。

◆ デジタル情報基盤とデータの可視化・共有

下水道施設における様々な維持管理データを蓄積・集約した「デジタル情報基盤」を構築します。維持管理データを起点に、データ主導のマネジメントサイクルを確立し、効果的な事業マネジメントを実現します。



蓄積・集約されたデータや予測結果はBIツールにより可視化され、遠方においても同じデータを共有することが可能です。グラフの加工やドリルダウンもその場でできるため、意思決定が効率化され、迅速なEBPMの実現に貢献します。



小間番号

■ 1号館 ■

1-225

【出展者】 日本水工設計(株)

【所在地】 〒104-0054 東京都中央区勝どき3-12-1 フォアフロントタワー

【連絡先】 TEL: 03-3534-5533 Eメール: project@n-suiko.co.jp

担当部署: プロジェクト推進室

◆ 管きょのAI劣化予測と対策検討

管きょの劣化状況を精度よく予測するための技術としてAI活用が注目されていますが、AIはあくまで手段であり、予測した結果を行動に繋げることが重要です。当社は管きょのAI劣化予測から対策検討までを一体的に実施することで、管きょの効率的な修繕・改築に貢献します。

◆ スクリーニング調査ロボット「もぐルーペ」

φ150mmにも対応した自走式スクリーニング調査ロボットです。マンホール内への入孔が不要なため、安全に管きょ内点検ができるほか、スマホの映像をみながらラジコン感覚で誰でも操作できます。

複数スパンを連続走行させることで、効率的に詳細調査を実施すべき管きょを絞り込むことができます。



(撮影) 国土技術政策総合研究所 管路模擬施設

ケーブル長は120m。任意のアクションカメラや、温度センサ等を装着することが可能です！

◆ PPP/PFI事業の知見・ノウハウの紹介

当社は下水道コンセッション事業や管路包括事業におけるプレイヤー実績と、多様な官民連携事業のアドバイザー実績があります。これら知見やノウハウを活用し、皆さまの下水道事業を強力に支援いたします。